

Topics

# 糖尿病 & 減塩フェスタ inせいてつ病院

わが国では、糖尿病やその疑いのある人が増えています。また、塩分の多い食生活は健康を損ねることがわかっていますが、糖尿病の予防と減塩はどうしたらよいのでしょうか？健康寿命を延ばすため、ぜひ、聞いて・見て・体験して考えてみませんか？



講演

14:00~15:00 3階 第三会議室

「糖尿病の予防と治療」

糖尿病内科 大城 彩香



体験コーナー

13:00~15:00 4階 講堂

- ・医師による健康相談
- ・味噌汁塩分好みチェック
- ・フットケア(足のお手入れ)体験
- ・お薬相談(お薬手帳を持参してください)
- ・インボディ(筋肉量・脂肪量)計測 ※先着20人程度
- ・血糖測定 など

日時 平成27年11月14日(土)  
13時~15時

場所 製鉄記念八幡病院  
4階 講堂、3階 第三会議室  
※無料駐車券を準備しております。

◆お問い合わせ/製鉄記念八幡病院  
TEL: 093-671-9302  
内科受付(月~金 9:00~17:00)  
koho@ns.yawata-mhp.or.jp

## 診療科目

がん診療センター	循環器・高血圧センター	脳卒中・神経センター	内視鏡センター	腎センター
内科	肝臓内科	消化器内科	循環器・高血圧内科	心臓カテーテル検査科
心療内科	脳血管内科	呼吸器内科	小児科	外科
脳神経外科	整形外科	リウマチ科	リハビリテーション科	形成外科
泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	緩和ケア外科	病理診断科
歯科・口腔ケア科				放射線科
				麻酔科

## 専門外来

内科	血液外来/甲状腺外来/膠原病外来/ ペースメーカー外来/腹膜透析外来/ 禁煙外来	呼吸器内科	SAS外来(睡眠時無呼吸症候群)	整形外科	リウマチ外来
心療内科	カウンセリング	小児科	小児循環器/小児神経/ 小児腎臓/小児肥満	放射線科	放射線治療外来
		外科	乳腺外来	緩和ケア外科	緩和ケア外来

■予約センター: 093-671-5489

■夜間休日急患受付: 093-672-3111

### 全科予約制

予約受付時間 8:00~16:00  
当日予約 10:30まで  
休診日:土曜、日曜、祝日



使命

住民の暮らしを支え、  
健康長寿をめざした  
地域づくりに貢献します

理念

皆さまが納得・安心する最良・最適の医療を提供します  
職員が誇りと自信を持つことができる  
職場づくりを追求します  
伝統を継承し、未来を見据え、  
地域から信頼される病院をめざします

編集後記

新人の頃から編集委員をしています。委員になる前は、広報誌の存在すら知りませんでした。しかし実際に活動してみると、院内の様々な取り組みを知ったり、取材を通じて人との関わり方を学んだり、私自身が多くのものを得ていることに気づきました。委員を務められることに感謝して「私にできることは何か?」と問いながら活動しています。

臨床心理士 片江 あづさ

こんにちは  
せいてつ  
病院です



発行日 2015年10月1日  
発行部数 4,200部

社会医療法人 製鉄記念八幡病院  
〒805-8508北九州市八幡東区春の町1丁目1-1  
TEL 093-672-3176  
http://www.ns.yawata-mhp.or.jp  
編集・発行責任者: 病院長 土橋 卓也

●広報誌へのご意見はこちらまで koho@ns.yawata-mhp.or.jp  
●地域医療連携のお問い合わせ TEL093-671-9700

デザイン編集・印刷: よしみ工業株式会社 表紙イラスト: かわぐち たまよ

# こんにちは せいてつ 病院です

特集

## 患者さんへの 負担が少ない MIST手術



- こんにちは探検隊 かじわらクリニック
- フォーカスインタビュー 産婦人科部長 林 嘉信
- こんにちは体験ルポ 医師事務作業補助者
- 医療をささえる看護のちから

100年前から  
100年先も

地域医療支援病院 日本医療機能評価認定病院  
社会医療法人 製鉄記念八幡病院

# 患者さんへの負担が少ないMISt手術

MISt(ミスト)手術って聞いたことありますか？新聞やテレビで見かけた方もいるかもしれません。MIStとは、さいしやうしん しゆうせき つい あんていじゆつ最小侵襲脊椎安定術(Minimal Invasive Spine Stabilization)のことです。体に負担の少ない手術をすることにより、患者さんの痛みを軽減し、回復を早めることが期待されるものです。そんな新しい治療を紹介します。



2 特集 患者さんへの負担が少ないMISt手術

## 低侵襲手術とは

最近の手術の多くは、低侵襲手術で行われるようになってきました。低侵襲とは小さな傷で手術をすることで、患者さんの身体への負担を軽くすることをいいます。整形外科では関節治療で始まりました。脊椎手術においてもヘルニア摘出や椎弓切除手術で導入され、現在では脊椎手術の多くに低侵襲手術が行われています。

これまで背骨の並びが悪いことでおきる腰痛や下肢痛で苦しんでいる患者さんには、皮膚を大きく切開して脊椎固定術をしていました。

低侵襲手術が広まるにつれ、脊椎固定術も低侵襲で手術できるようになってきています。それがMISt手術です。今までの脊椎固定手術では、1カ所あたり、およそ12cm近い皮膚の切開が必要でしたが、MISt手術では、その3分の1の4cmほどの切開で手術ができます。そのため手術時の出血量と筋肉の損傷が少なく、切開部の回復も早く痛みも少なくなります。痛みが少なければ、リハビリを早く始めることができ、退院が早くなり、社会復帰を早くすることができるのです。

## MISt手術

MISt手術はX線撮影装置と特殊な手術台を使っています。脊椎の変形で圧迫を受けている神経を小さく切開し、顕微鏡を使って圧迫を解除します。その後、透視画像を見ながらネジを入れて背骨を固定します。従来の方法に比べて大幅に痛みが少なくなったことで、当院の入院期間は約半分になりました。

背骨の変形で困っている患者さんだけでなく、最近ではケガで背骨を骨折した方や、骨粗鬆症で背骨の圧迫骨折を起こした方、がんが背骨に転移して、痛みで起き上がれなくなった方などは、これまでベッドで安静に長い期間寝ていなければならなかったのですが、積極的にMISt手術を行って、早く起き上がることができるようになって喜ばれています。

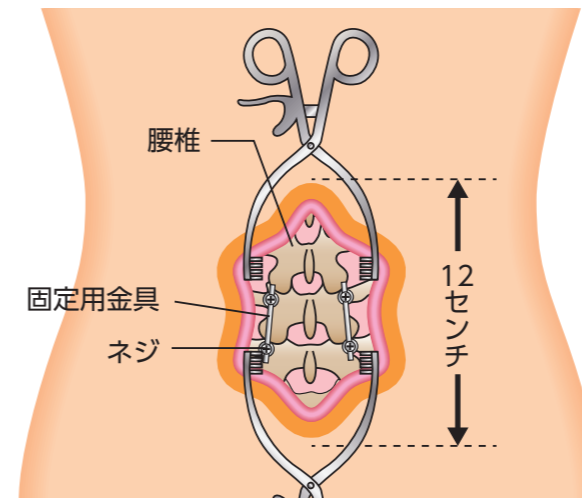


図1. 従来の脊椎後方固定術

従来の脊椎固定術では、スクリュー刺入部を直視下に見る必要があり、左右に大きく傷を開くため、皮膚を大きく切らなくてはならず、骨の周囲の筋肉も併せて切るので、腰の筋肉のダメージも大きくなります。

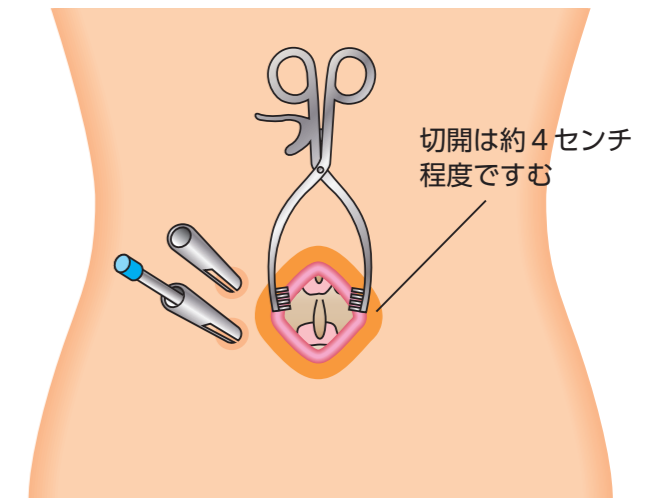


図2. MIStによる固定術

MISt手術では、固定するためのスクリューは傷を大きく開けずに、人差し指くらいの傷で挿入するので、腰の筋肉のダメージが少なくなります。圧迫された脊髄は、必要最小限の切開で顕微鏡を用いて解除します。

## おわりに

背骨の手術と聞くと、痛みが強かったり、寝たきりになったり、足が動かなくなったりするのではないかと、怖いイメージがあるのではないのでしょうか。手術法の進化により、そのようなことは大変少なくなりました。

腰痛や足の痛みで困っている方、休みながらでないと歩けなくなったという方、一度、当院にご相談ください。

整形外科 TEL 093-671-9317



整形外科担当部長  
末永 賢也  
すえ なが けん や

日本整形外科学会専門医  
日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医

# かじわらクリニック

今回は、2014(平成26)年12月末まで当院副院長として勤務しておられた梶原英二先生が今年の2月に開院された、かじわらクリニックを訪問しました。当院の向かい側にあり、医療の連携を密にしたクリニックとなっています。



院長 梶原 英二 先生  
かじわら えいじ

専門医療を提供するとともに、内科総合医として内科一般の診療と予防医学の充実をはかり、地域に根ざした健康管理と医療を提供していきたいと思えます。

スタッフも含め、明るい雰囲気づくりを心がけています。

### Q：当院へのメッセージをお願いします

A：検査の依頼や急患に、すばやく対応していただき、非常に助かっています。製鉄病院の先生方には、紹介した患者さんの詳細な内容のお返事をいつもいただき誠に感謝しています。製鉄病院の発展を祈っております。みなさま、今後がんばってください。



梶原先生は、気さくで優しいところは当院に勤務されていた頃と変わらず、開院後は患者さんとの時間をより大切にされている様子でした。



### 今回の探検隊

検査部  
土器 若穂  
経営管理部  
伊藤 晴貴

## かじわらクリニック

福岡県北九州市八幡東区中央2-10-4 3F  
TEL 093-663-3280  
http://www.kajiwara-cl.jp

### 診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	△
14:30~18:00	○	○	○	△	○	△	△



相談室

待合室

### Q：貴院の特色やPR点についてお聞かせください

A：製鉄病院の向かいにあるので、製鉄病院でCTやMRIなどの画像検査をすぐに行っていただくことができます。お互いに連携し、質の高い医療の提供をめざしています。当クリニックは肝臓病の

### Q：先生のモットーをお聞かせください

A：患者さんと時間をかけて、よく会話をすることが第一です。患者さんに病気や状況を理解してもらった上で、不安をなくし、病気を一緒に治していきたいと思っています。製鉄病院で勤務していた頃より患者さんとゆっくり会話ができ、さらにエコーなどで患者さんの状態を自分で確認しながら診察しています。「梶原先生にはいろいろなことを相談しやすい」とおっしゃってくれる患者さんも多くいらっしゃいます。

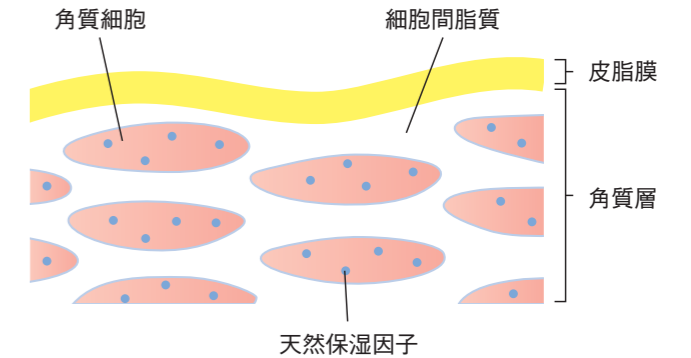


## 保湿剤について

皮膚の乾燥が気になる季節が近づいてきました。冬場にかけて、皮膚のかゆみやひび割れにお悩みの方も多いのではないのでしょうか。皮膚の乾燥を防ぐためには、生活環境を整え、保湿剤を毎日正しく塗ることが重要です。

### 皮膚のバリア機能

皮膚のうるおいは「皮脂」「天然保湿因子」「角質細胞間脂質」という3つの物質によって保たれています。しかし、加齢やストレス、外部環境の変化によってこれらが減ってしまうと、皮膚が乾燥しバリア機能が低下してしまいます。



### 基剤について

基剤とは、塗り薬のもとになる薬の効果を持たない成分のことで、大きく3つに分類されます。

#### ●軟膏

油性成分から成り立っていて水分を含みません。皮膚への刺激が少なく保護作用に優れているため、カサカサした部分、じくじくした部分どちらにも使用できます。水で落ちにくく、ややべたつきます。

#### ●クリーム

水分と油性成分が混ざってできています。べたつかないので使用感が良く、浸透性に優れています。ただし、じくじくした部分には刺激となる場合があるため注意が必要です。

#### ●ローション

クリームよりも水分が多く含まれています。さっぱりした使用感で伸びが良く、頭皮にも使用できます。クリームと同様、じくじくした部分には刺激となる場合があるため注意が必要です。

### 保湿剤の種類

#### ●白色ワセリン

傷の部分に油の膜で被い、刺激から守ります。手足のひび割れ、あかぎれに有効です。

#### ●ヘパリン類似物質

皮膚の水分を保ち、血行を改善します。軟膏、クリーム、ローション、スプレーなど種類が豊富です。

#### ●尿素含有製剤

皮膚の水分を保ち、固くなった角質をやわらかくします。

#### ●ビタミン含有軟膏

皮膚の生まれ変わりを助けるビタミンAや、血行を良くするビタミンEが含まれています。



保湿剤の使用は、お風呂上がりが効果的です。うるおいを逃がさないよう習慣的な使用を心がけましょう。ただし、保湿剤が皮膚に合わない、症状改善がみられない場合は、医師、薬剤師に相談しましょう。

Hayashi Yoshinobu

Profile

昭和53年 九州大学医学部卒業 九州大学産婦人科  
昭和55年 九州大学ウイルス学教室  
昭和58年 米国ジョンスホプキンス大学  
昭和61年 佐賀医科大学（現 佐賀大学）  
産婦人科  
平成3年 新日本製鐵株式会社 八幡製鐵所病院  
（現 製鉄記念八幡病院）

<専門>

日本産婦人科学会専門医  
日本臨床細胞学会細胞診専門医  
日本がん治療認定医機構暫定教育医  
母体保護法指定医  
日本婦人科腫瘍学会代議員

産婦人科部長



# 林 嘉信

たころのことで忘れられないことがあります。胎児の命が危険な状態になり、緊急帝王切開術を行い全力を尽くしましたが、残念なことに胎児を救うことができませんでした。このような場合、次の出産のときは別の病院を希望されることもあります。その方は当院での出産を希望され、その結果、無事に帝王切開術で出産されました。母児ともに健康に退院していただいたときには、安堵感とともに責任の大きさを改めて感じたものでした。これからも一人ひとりの患者さんに、最適な医療を提供するために努力していきたいと思っています。

Q. 医師をめざしたきっかけは？

私が医師をめざすことを決めたのはずいぶん以前のことなので、当時のことを思い起こしてみました。理科系でしたので、電子工学か医学かの進路を考えていました。科学全般に興味がありましたが、結局、医学が自然科学の中で最も人間との関わりが深く、人の役に立てて、人の命を救うことができるということ、医師になる道を選びました。

Q. 座右の銘をお聞かせください

座右の銘とっていいかわかりませんが、「誠心誠意」という気持ちを大切にして、患者さんと日々接しています。

Q. 医師としての目標を教えてください

私は1978(昭和53)年に九州大学医学部を卒業し、産婦人科学教室に入局しました。当院には1991(平成3)年より勤務しています。それ以来、医師として目標としていることは、患者さんやご家族に良かったと思ってもらえる医療を提供することに尽きます。そのためには、臨床医として技術や知識を磨き続けることはもちろんですが、患者さんに寄り添う気持ちを大切にすることに心がけています。今まで多くの患者さんの診療にあたり、その一つひとつが大切な記憶ですが、産科診療を行って

## 医師事務作業補助者

医師事務作業補助者とは、医師が行う事務的業務を支援することにより医師の負担を軽減するために、8年前に制度化された新しい医療スタッフです。手術や検査など医師にしかできない業務や患者さんと向き合うなど、医師が本来の診療に専念できる環境を確保するための仕事をしています。

おもな業務は医師の事務作業代行で、すべての業務は医師の指示と承認のもと行っています。当院ではMOA (Medical Office Assistant)の名称で24名が医事部医事課に所属しています。



おもな仕事

1 診断書作成補助

作成日数の短縮と、医師が記載する部分をなるべく減らすことを目標として、各種診断書や証明書、主治医意見書などの記載補助を行っています。

2 各種医療情報の登録業務

国の施策である「がん登録」や、各種学会より依頼された医療情報の登録補助を行っています。がん登録は専門的な研修を受け、実務者認定に合格した担当者が行っています。また、医療情報の登録業務や一部の診断書作成において、当院では看護師資格を有する担当者が質の高い業務を行っています。

3 外来での医師の事務作業補助

これまで医師が行っていた初診時の問診データや検査のオーダー入力を、医師の指示によって代行しています。



当院では、入社後約1ヶ月半に25項目にもおよぶ教育プログラムを設けており、診療技術部門や情報システム課、看護部などの院内関連部門の協力によって、国から指定された医療内容や関係法規などの教育を実施しています。また、指定された教育以外にも各種専門分野の講義を看護師などの医療スタッフが行っています。

医師事務作業補助者の外来配置が始まって約1年が経過し、医師より「外来での事務作業負担が減少し、診療の充実につながってきている」との評価をいただけるようになってきました。今後も目標を高く持ってがんばっていききたいと思います。

# E外来

外来化学療法室  
中央処置室



## 部署目標

1. 安心して検査・外来治療が受けられるよう医療チームで取り組むとともに苦痛緩和に努めます
2. わかりやすい説明を心がけます
3. 患者誤認防止のためフルネームで確認します
4. 個人情報・プライバシーの保護に努めます

E外来は、治療検査部門で中央処置室と外来化学療法室を担当しています。

中央処置室では、各外来での点滴や注射、輸血、外来処置(吸入、しゃ血、胸腔穿刺、腹腔穿刺、浣腸、導尿など)を行っています。1日に約30名の方が利用されますが、できるだけお待たせしないよう迅速に対応するようにしています。また処置を行うだけでなく、患者さんやご家族の思いを汲みとり、診察室との橋渡しができるように心がけています。

外来化学療法室は、医師、看護師、薬剤師で運営しており、患者さんは日常生活を送りながら化学療

法を継続することができます。私たちは患者さんがリラックスして治療ができる環境をつくり、安心して治療が受けられるように、専門的で心のこもったケアを心がけています。また患者さんやご家族とのコミュニケーションを深め、抗がん剤の副作用についての悩みや、自宅での生活に対する不安を少しでも軽くできるよう支援しています。

スタッフは看護師11名で、経験も年齢もさまざまですが、各科主治医・薬剤師・臨床検査技師・医事課などと連携し、チームで取り組んでいます。



点滴指示確認



点滴投与確認



点滴中の刺入部の観察



さまざまな診療科に対応していますので、わからないことやお困りのことがありましたら遠慮なくおたずねください。

## Topics

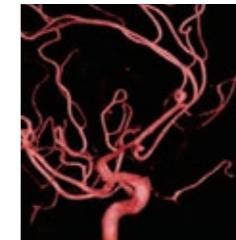
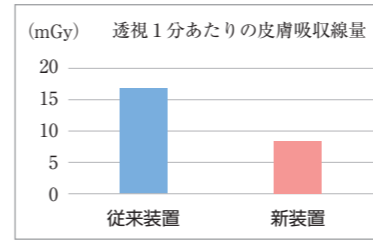
### 血管造影装置が新しくなりました PHILIPS社製 Allura Clarity FD20/15

6月より、頭頸部・体幹部・四肢の血管造影検査や血管内治療を行っている血管造影装置が新しくなりましたので、この装置の特徴を紹介します。

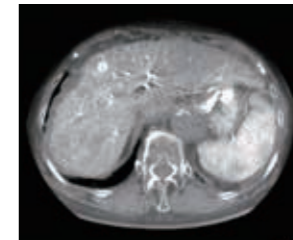
- ・従来の装置と比べて被ばく線量が大幅に低減できます。(表1)
- ・回転撮影を行うことで、血管の3D画像(図1)や\*コーンビームCT画像(図2)が得られ、より安全で正確な治療が行えるようになります。
- ・画像解析ソフトで解析することで、血管内治療のガイド画像として有用な画像が得られます。(図3)

患者さんへの負担を大幅に軽減しながら、高度な検査と治療を提供します。

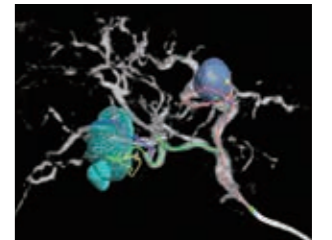
\*コーンビームCT：円錐状のX線を照射して回転撮影を行うCT



(図1) 脳血管の3D画像



(図2) コーンビームCT画像

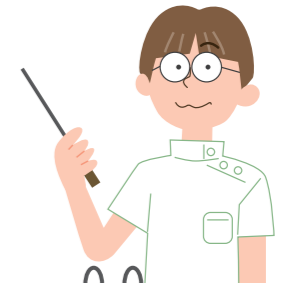


(図3) 肝臓の血管の3D画像  
腫瘍を栄養する血管を解析してナビゲートします

## 臨床検査技師の やさしいゼミ 検査の略語

検査結果をもらっても、略語が多く、何のことか分からないといったことはありませんか？

そこで普段よく行われる検査について、略語の意味をやさしく解説します。



	WBC	RBC	Hb	Ht	PLT
日本語訳	白血球数	赤血球数	ヘモグロビン濃度	ヘマトクリット値	血小板数
基準値	男性 34-94 (×100/μl) 女性 31-88 (×100/μl)	男性 384-525 (×10000/μl) 女性 345-460 (×10000/μl)	男性 12.6-16.6 (g/dl) 女性 10.1-14.6 (g/dl)	男性 37.5-49 (%) 女性 32-43 (%)	13-35 (×10000/μl)
説明	白血球は細菌や異物などを排除する生体防御に関与します。炎症性疾患や血液疾患などで増減します。	赤血球は全身に酸素を運び、二酸化炭素を運びだす働きがあります。出血やさまざまな貧血で減少します。	赤血球に含まれる色素で、全身の細胞へ酸素を運ぶ中心的な役割を担っています。おもに貧血の程度を示します。	全身の血液量から赤血球の割合を表した数値です。貧血の程度の指標となります。	血小板は出血した部位に集まって止血する働きがあり止血能力のひとつになります。さまざまな血液疾患で変動し肝硬変で減少します。



病院ご利用の

## 賢い選択

### 肝炎治療助成制度

肝炎治療費助成制度とは、B型・C型肝炎のインターフェロン治療(3剤併用療法を含む)、B型肝炎の核酸アナログ製剤治療及びC型肝炎のインターフェロンフリー治療にかかる医療費を助成する制度です。

根治を目的とする治療が助成の対象で、インターフェロンを使っても、根治を目的としない場合は助成対象になりません。

#### ●実施主体

都道府県

#### ●対象者

- ・ B型・C型肝炎ウイルスに対して保険適用の抗ウイルス治療を実施している方または実施予定の方
- ・ B型肝炎ウイルスに対して保険適用となっている核酸アナログ製剤治療を実施している方または実施予定の方
- ・ 医療(健康)保険に加入している方

#### ●対象医療

- B型慢性活動性肝炎に対するインターフェロン単独
  - ・ インターフェロンあるいはペグインターフェロン単剤
- B型慢性活動性肝炎に対する核酸アナログ製剤治療
- C型慢性肝炎疾患の根治を目的としたインターフェロン治療
  - ・ インターフェロンあるいはペグインターフェロン単剤
  - ・ インターフェロンあるいはペグインターフェロン+リバビリン併用
  - ・ ペグインターフェロン+リバビリン+プロテアーゼ阻害剤の3剤併用
- C型慢性肝炎疾患の根治を目的としたインターフェロンフリー治療

#### ●助成期間

同一患者につき1年を限度とします。

※治療内容によって、48週、24週、12週になります。  
 ※B型ウイルス性肝炎の核酸アナログ製剤治療は医師が治療継続を必要とした場合には、更新することができます。

#### ●申請方法

肝炎治療の開始日が決まりましたら、医事課で申請手続きの説明をいたします。

#### ●必要書類

1. 肝炎治療受給者証交付申請書
2. 規定の診断書
3. 世帯調書
4. 医療(健康)保険証(原本)
5. 住民票(世帯全員)
6. 市町村民税課税額証明書(世帯全員)
7. 市町村民税課税額合算対象除外申請書

#### ●申請先

- 住所地の保健所
- 北九州市の方は、各区役所保健福祉課

#### ●助成額

世帯の市町村民税課税年額	自己負担限度額(月額)
235,000円未満	10,000円
235,000円以上	20,000円

- ・ 申請後、都道府県の審査会で認定された方に肝炎受給者証が本人へ郵送されます。
- ・ 受給者証は、必ず診察前に当院総合受付に提出してください。
- ・ なお、受給者証の交付は、およそ2ヶ月ほどかかります。

※受給者証の提出までのお支払は、一旦病院・薬局で健康保険負担割合でお支払いいただきます。後日、役所窓口で返金手続き申請後、差額が還付されます。

■お問い合わせ 医事課 田邊 TEL 093-672-3186 (9:00~16:30)

## Topics

### ホームページをリニューアルしました

2015(平成27)年10月より、当院ホームページが新しくなりました。近年普及している、スマートフォンやタブレット端末にも対応し、facebookも開設いたしました。当院の診療内容やイベントなど、さまざまな情報を発信してまいりますので、ぜひご覧ください。



<http://www.ns.yawata-mhp.or.jp>

せいてつびょういん

検索



いいね!

### ～世界文化遺産に深い関わりがある病院として～

2015年7月5日、「明治日本の産業革命遺産」が世界文化遺産に登録決定されました。23ある構成遺産の一つ、官営八幡製鐵所は1901(明治34)年の操業開始から1世紀以上経た現在も、その一部は稼働を続けています。

当院(当時・八幡製鐵所附属病院)は製鐵所開設前の1900(明治33)年、従業員のけがや災害などの診療にあたるため、構内に設置され、1908(明治41)年に八幡東区春の町の現在地に移転しました。

今回の世界文化遺産決定は、当院にとりましても大変うれしいニュースとなり、116年の長い病院の歴史を改めて振り返るきっかけとなりました。これからも地域に暮らす皆さまに最良・最適な医療をご提供するとともに、皆さま方の健康寿命を守るお手伝いに職員一同、まい進いたします。



1908(明治41)年 製鐵所構内から現在地に移転・完成した木造建て病院



官営製鐵所 旧本事務所 1910(明治43)年